



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉崎 康昭

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 島本 信英

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	17,964	△23.8	△418	—	△1,343	—	△983	—
28年3月期第2四半期	23,569	21.4	50	△96.5	552	△73.5	327	△77.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△26.73	—
28年3月期第2四半期	8.90	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	88,558	—	32,876	—	—	37.1
28年3月期	88,905	—	33,822	—	—	38.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 32,876百万円 28年3月期 33,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	5.00	—	0.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期末の配当予想は未定です。

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,200	△7.2	1,300	—	400	—	100	—	2.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は【添付資料】P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	36,800,000 株	28年3月期	36,800,000 株
29年3月期2Q	1,244 株	28年3月期	1,244 株
29年3月期2Q	36,798,756 株	28年3月期2Q	36,798,756 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円高の進行による輸出環境の悪化や新興国をはじめとした世界経済の減速懸念もあり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当事業につきましても、チタン事業では、輸出向けにおいて航空機の製造は堅調に推移しており年間での販売数量は増加する見込みであるものの、当事業年度の出荷が下期に多い計画であることに加え、円高の影響もあり売上が減少いたしました。一方、国内向けにおいても、海水淡水化案件の需要減に加え、造船用プレート式熱交換器、発電プラント向け等の一般産業用展伸材需要が当初予想を下回ったことから売上が減少いたしました。この結果、チタン事業の売上高は11,968百万円（前年同期比21.6%減）となりました。

ポリシリコン事業では、半導体用ポリシリコンの需給調整継続や主要顧客向け販売数量の見直しの影響、また当事業年度の出荷が下期に多い計画であることから販売数量が減少したため、売上高は4,838百万円（前年同期比31.7%減）となりました。

高機能材料事業では、半導体需要の増加に伴う高純度チタンでの需要増はあったものの、液晶用途のTILOP（タイロップ）の需要が調整局面であることから粉末チタンの販売数量が減少したため、売上高は、1,157百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は17,964百万円（前年同期比23.8%減）と減収となりました。

一方、利益につきましては、販売数量の減少や円高の影響により、営業損失は418百万円（前年同期は50百万円の利益）となりました。また、営業外費用に円高による外貨建売掛債権の為替差損を計上したため、経常損失は1,343百万円（前年同期は552百万円の利益）、四半期純損失は983百万円（前年同期は327百万円の利益）となりました。

(参考)事業別売上高

(単位：百万円)

		当第2四半期	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	5,180	7,372	△29.7
	輸出	6,787	7,891	△14.0
	計	11,968	15,263	△21.6
ポリシリコン事業		4,838	7,088	△31.7
高機能材料事業		1,157	1,216	△4.8
合計		17,964	23,569	△23.8

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第2四半期会計期間末の総資産の残高は、88,558百万円と前事業年度末と比べ347百万円減少いたしました。これは、売掛金及び棚卸資産が増加したものの、有形固定資産が減少したことが主な要因であります。

②負債

当第2四半期会計期間末の負債の残高は、55,681百万円と前事業年度末と比べ598百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が減少したものの、借入金が増加したことが主な要因であります。

③純資産

当第2四半期会計期間末の純資産の残高は、32,876百万円と前事業年度末と比べ946百万円減少いたしました。これは、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2016年4月28日発表の通期業績予想を下記のとおり修正いたしました。

2017年3月期 通期業績予想の修正 (2016年4月1日～2017年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,300	2,000	1,900	1,000	27 17
今回修正予想 (B)	38,200	1,300	400	100	2 72
増減額 (B-A)	△4,100	△700	△1,500	△900	—
増減率 (%)	△9.7	△35.0	△78.9	△90.0	—
(ご参考) 前期実績 (2016年3月期)	41,149	△1,643	△2,058	△8,840	△240 25

(修正の理由)

売上高につきましては、今後も為替相場が円高基調で推移すると見込まれること、チタン事業において一般産業用展伸材の需要が当初予想を下回る見込みであること等から4月時点の予想より販売数量が減少すると見込まれること等により、前回予想値を下回る見込みであります。

営業利益につきましては、売上高の減少見込みを受けコスト合理化等の一層の収益改善に努めるものの、円高の影響や販売数量の減少、エネルギー価格の上昇に伴う支払電力料等の増加影響により、前回予想値を下回る見込みであります。また経常利益および当期純利益につきましては、営業利益の悪化に加え、円高による為替差損の営業外費用への計上等により前回予想値を下回る見込みであります。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用）

年間の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（3）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2016年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2016年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,036	1,474
受取手形及び売掛金	10,701	11,231
商品及び製品	11,118	12,716
仕掛品	4,059	4,112
原材料及び貯蔵品	7,324	6,100
その他	1,028	1,029
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	36,266	36,660
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,416	12,187
機械及び装置（純額）	19,220	18,675
土地	14,823	14,823
建設仮勘定	624	425
その他（純額）	593	552
有形固定資産合計	47,678	46,663
無形固定資産	727	633
投資その他の資産	4,233	4,600
固定資産合計	52,639	51,897
資産合計	88,905	88,558

(単位：百万円)

	前事業年度 (2016年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2016年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,777	3,590
短期借入金	23,790	28,100
未払法人税等	51	45
設備関係支払手形	61	103
設備関係未払金	466	505
賞与引当金	363	360
事業再構築引当金	360	206
その他	971	1,021
流動負債合計	30,841	33,934
固定負債		
長期借入金	21,000	18,500
資産除去債務	1,327	1,341
退職給付引当金	1,768	1,798
その他	145	106
固定負債合計	24,241	21,747
負債合計	55,083	55,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	16,187	15,203
自己株式	△9	△9
株主資本合計	33,859	32,876
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63	75
繰延ヘッジ損益	△100	△75
評価・換算差額等合計	△37	0
純資産合計	33,822	32,876
負債純資産合計	88,905	88,558

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)
売上高	23,569	17,964
売上原価	21,183	15,701
売上総利益	2,385	2,262
販売費及び一般管理費	2,334	2,681
営業利益又は営業損失(△)	50	△418
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	1
為替差益	198	-
不用品売却益	67	61
受取賃貸料	21	25
補助金収入	92	42
事業再構築引当金戻入益	226	-
その他	16	3
営業外収益合計	626	135
営業外費用		
支払利息	110	101
為替差損	-	753
休止固定資産減価償却費	5	0
その他	8	204
営業外費用合計	124	1,060
経常利益又は経常損失(△)	552	△1,343
特別損失		
固定資産除却損	55	72
ゴルフ会員権評価損	4	2
特別損失合計	59	74
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	492	△1,418
法人税等	164	△434
四半期純利益又は四半期純損失(△)	327	△983

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	15,263	7,088	1,216	23,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	15,263	7,088	1,216	23,569
セグメント利益又は損失(△)	333	△410	127	50

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

当第2四半期累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	11,968	4,838	1,157	17,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-
計	11,968	4,838	1,157	17,964
セグメント利益又は損失(△)	220	△974	336	△418

(注) セグメント利益又は損失の合計額と四半期損益計算書上の営業損失とに差額は生じておりません。